

# 令和2・3年度 小中一貫教育推進事業



## 羽島中学校区



# 小中一貫教育公開研究会

### 小中一貫教育目標

羽島を愛し、夢と志をもち、心豊かでたくましい人づくり  
～9年間で育てる羽島の子供～

### 児童生徒の実態

#### 良い点

- 素直で礼儀正しい
- 人間関係が良好
- 授業や行事に真剣
- 地域行事に積極的

#### 伸ばしたい点

- ▲ 他者の意見を認めること
- ▲ 学力差の解消
- ▲ 能動的な姿勢
- ▲ 探求心や向上心
- ▲ 目標をもつ姿勢

乗り入れ授業



読み聞かせ



みんなで遊ぶ日



交流授業



### 小中一貫教育テーマ

主体的な態度で活動に取り組む児童生徒の育成

### めざす児童生徒像

計画的に物事に  
取り組む児童生徒

意欲的に自己を表現  
できる児童生徒

互いに尊重し合える  
関係を築ける児童生徒

### 小中一貫教育組織図

主体的な態度で活動に取り組む児童生徒の育成

小中一貫教育推進会議  
羽島中学校長 羽島小校長

小中一貫教育推進委員会

中 管理職・担当者 小 管理職・担当者

小中一貫教育推進協議会

中 全職員 小 全職員

学力向上部会

生徒指導部会

### 羽島小学校

児童数 52名  
学級数 6学級



### 羽島中学校

生徒数 25名  
学級数 5学級

# 学力向上部会

- ①授業における交流
- ②9年間を見通した教育課程
- ③系統性のある家庭学習
- ④系統性のある学業指導

## 授業における交流

乗り入れ授業(中→小)



小3-理科

乗り入れ授業(小→中)



中1-国語

交流授業



中2・小5-国語

体験授業



小6-英語

令和2年度は、中学校から小学校へは20回、小学校から中学校へは3回、実施した。

【令和2年度 実施内容】

- 国語：「短歌を作ろう」「討論ゲーム」  
 理科：「自由研究」「北斗七星と北極星」  
 社会：「ゴミの処理と利用」「ふりこと振動」  
 「風水害からくらしを守る」  
 英語：「色」「数字」  
 算数・数学：「割合(百分率)」  
 など

令和2年度は、国語で実施した。中学生が本を紹介し、小学生が採点をした。

- 【単元】  
 中：読書活動「ビブリオバトル」  
 小：「この本をおすすめします」

令和2年度は、算数と英語で実施した。

- 【単元】  
 算数：「中学校へのかけ橋(学校図書)」  
 英語：「Junior High School Life(開隆堂)」

## 9年間を見通した教育課程

### 9年間の系統図

### 関連プリント

教科教育9年間の系統性を整理したものに、関連プリントをリンクさせた「プリントリンク系統表」の作成に取り組んでいる。まず作成を始めたのは、系統性の強い算数・数学からである。小学校5領域と中学校4領域の系統性を整理した表に、教科書会社がHP上で公開しているプリントとリンクさせることで、児童生徒の学習につまずきが見られた場合の復習に活用したり、新しい単元に入る前の準備学習に活用したりしやすい系統表にしている。

小学5年生 用  
 倍の計算  
 ひまわりを育てよう①②

小学5年生 用  
 10 倍数と約数  
 1 偶数と奇数① 偶数、奇数  
 2 倍数と公倍数② 公倍数、  
 ③④  
 3 約数と公約数⑤ 約数、公約数  
 最大公約数

## 系統性のある家庭学習

家庭学習における決め事を6つの視点に分け把握をし、さらに、発達段階に応じた家庭学習時間の設定をした。

学年	小学校		中学校	学習環境
	1日40分	1日60分	平日1時間30分 休日2時間以上	
計画性				① 学習環境(机の回りなど)や生活リズムを整える。 ② 帰宅後、早めに宿題に取り組み、必ず、済ませる。 ③ 決まった時間に、決まった所で学習する。
自主性	① 帰ったらすぐに取り組む。 ② 宿題のときはテレビなどをつけない。	① 帰宅後、すぐに宿題に取り組む。 ② 宿題のときはテレビなどをつけない。	① 目標を立て、勉強に取り組む。 ② 必要な学習を考えた取り組み、良かった点・できた点を確認する。	① 学習環境(机の回りなど)や生活リズムを整える。 ② 帰宅後、早めに宿題に取り組み、必ず、済ませる。 ③ 決まった時間に、決まった所で学習する。 ④ 提出期限を考慮し、計画的に学習を進める。 ⑤ 宿題以外の自主学習に積極的に取り組む。 ⑥ 翌日の準備は、必ず済ませる。
準備				① 学習環境(机の回りなど)や生活リズムを整える。 ② 帰宅後、早めに宿題に取り組み、必ず、済ませる。 ③ 決まった時間に、決まった所で学習する。 ④ 提出期限を考慮し、計画的に学習を進める。 ⑤ 宿題以外の自主学習に積極的に取り組む。 ⑥ 翌日の準備は、必ず済ませる。

## 系統性のある学業指導

羽島小の「学習の手引」と羽島中の「学習七か条」の系統性を見直しを行った。それをもとに、下記の2点を重点事項として定め、それぞれの発達段階に応じた内容に改め、指導を行った。

「はつびょうのしかた(低学年)」  
 「はつびょうするときは、はい、わたしは〇〇だと思います。そのわけは、△△だからです。みなさん、どうですか。(どう思いますか)」  
 「おなじとき」  
 「おなじとき」  
 「おなじとき」  
 「おなじとき」  
 「おなじとき」

中学生の  
**一分前着席**  
 ①教科書・ノート・道具を準備しておこう。  
 ②前の確認をし今日の授業の見通しを持とう。

小学校下学年の発表のしかた

中学校の2分前着席

# 生徒指導部会

- ① 共通実践事項
- ② 小中合同行事
- ③ 交流活動
- ④ キャリアパスポート

## 交流活動

読み聞かせ



みんなで遊ぶ日



生徒会文化部の企画により、年に4回程度、中学生が小学生に「読み聞かせ」を実施している。令和2年度は、小学1・2年生に「グルンパのようちえん」、3・4年生に「モグラバス」、5・6年生に「うんこだすまん」などを読んだ。中学生のダンスを小学生と一緒に踊るなど、読み聞かせを楽しむ姿が見られた。

また、生徒会と児童会が合同で企画をした「みんなで遊ぶ日」では、鬼ごっこを行った。(昨年度は中止)

さらに、中学校の文化祭を小学生(高学年)が見学する機会を設けた。

## 小中合同行事

### ○黎明祭

中学生は英語で、小学生は鹿児島弁で、英国留学生19名の偉業の紹介などを行っている。練習も合同で実施している。



### ○引き渡し訓練

災害の時にスムーズに保護者へと児童生徒を引き渡すことができるように小中合同で訓練を行っている。



### ○運動会

毎年合同で実施。応援合戦やなわとびなどいくつかの種目を合同で行ったり、小学生から中学生へバトンをつなぐ種目があったりと、小学生が中学生に憧れをもつきっかけになっている。



## 共通実践事項

- ① 立ち止まってあいさつ
- ② 2分前着席
- ③ 21時以降ノーメディア

小学校・中学校で共通した掲示物を各学級などに掲示し、常に意識して生活できるよう取り組んだ。「立ち止まってあいさつ」や「時間を守る」に関しては、日頃からの声かけや児童生徒と教師が共に実践する事により定着しつつある。

はしあしあう ちかつかうこうとくつうしんしじろ  
羽島小・中学校共通実践事項

立ち止まってあいさつ  
二分前着席、二分前集合  
夜九時以降ノーメディア

2分前着席



小学校は「家庭学習強調週間」、中学校は「NOメディアウィーク」という名称で、メディア利用に対する意識を高めている。

	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)	14日(月)
学習時間	目標 180分	120分	180分	180分	200分
	実際 270分	135分	205分	195分	345分
メディア時間	目標 60分	60分	80分	80分	60分
	実際 40分	40分	60分	60分	20分

## キャリアパスポート

小

### 夢をテーマに目標設定

小学校は1年生から6年生まで「夢」をテーマに目標を設定し、理由や頑張ること等を記入し、掲示している。

○今の自分をみつめて

学習面の目標  
教科ごとの  
生活面の目標  
家庭・地域での目標  
その他(思い事・資格取得など)の目標

私の自己PR(自分のよいところ)  
明るい  
家族が大好き

こんな大人になりたい(将来の夢)  
看護師

そのために、つきたい力  
コミュニケーション力  
観察力

○なりた自分になるために身につけたいこと(目標)と、そのために取り組みたいこと

そのために  
時間を決め  
真面目に取り組む  
練習を見たり  
お話を聞いたりする  
目標を定める  
家に居る時間を有効に活用する

先生からのメッセージ  
中野先生の言葉  
目標達成(成功)の喜び

1 わたしの一生涯の夢は  
お医者さん です。

2 理由は  
自分の手で、かん者さんを助け  
る事ができる からです。

3 そのために、今、がんばることは  
いろんな人と話したり、医学の事  
を勉強したりする事 です。

4 わたしの一生涯の夢は  
かんごし です。

5 理由は  
お医者さんや、かん者さんの様子を  
近くで見たいからです。

中学校では、「自分を見つめる」ため学期ごとに目標を立て、評価をしている。また、行事や講話などでも自分を振り返る機会を設けている。

自分を見つめ目標設定

# その他の小中合同での取組 (PTA活動など)



## アンケートの結果

共通実践事項 (令和2年度児童生徒実施)		よくできた	できた	あまり	全く						
	①立ち止まってあいさつ	②2分前着席		③21時以降ノーメディア							
9月	51%	37%	12%	15%	50%	32%	3%	38%	18%	22%	22%
12月	54%	41%	5%	15%	49%	31%	5%	30%	29%	24%	17%
3月	64%	29%	7%	30%	46%	17%	7%	39%	23%	20%	18%

小中一貫アンケート (令和3年度小・中学校職員実施)		とても	まあまあ	あまり	全く
ア. 系統的な指導で、個性や能力を伸ばすことにつながったか。	イ. 交流学习等で児童と生徒がコミュニケーションをとる機会が増えたか。	ウ. 小・中学校間の教職員の交流により、相互の理解が深まることにつながったか。	エ. 地域との連携を深めることで、開かれた学校づくりにつながったか。		
18% 0% 65% 17%	6% 0% 53% 41%	0% 12% 53% 35%	0% 12% 59% 29%		

## 成果

- **乗り入れ授業**では、学習のつながりを意識させることができた。また、中学校教諭は小学校の実態を把握することができ、小学校教諭は生徒の学習の様子や成長を知ることができた。
- **系統性**を見直すことで、小・中学校の学業指導や家庭学習のつながりを確認できた。
- 小・中学生の**交流**では、中学生はリーダーシップを発揮する機会が増え、小学生は中学生への憧れをもつことができています。児童生徒・教職員ともに、お互いを知るきっかけにもなっている。

児童生徒の感想	生徒：話し方が論理的になっていると言われて、自分が成長していると実感できた。 乗り入れ授業-国語(小→中)	児童：中学生になったら図書室で本を借りたい。 生徒：緊張したが、小学生に伝わるように表現できた。 交流授業-国語
	児童：自由研究でどんなことをすればいいか分かった。今年の自由研究は自分の力でしたい！ 乗り入れ授業-理科(中→小)	児童：中学校での英語学習が楽しみになった。また、中学校の教室の雰囲気分かって良かった。 体験授業-英語

## 課題

- ▲ **共通実践事項**に関しては、21時以降ノーメディアの達成率の改善が必要である。
- ▲ **乗り入れ授業**については、小・中学校の教員同士の打ち合わせの時間確保が必要である。
- ▲ ICTの活用など、時代に応じた**交流活動のあり方**を考えていくことが必要である。